

仁淀川水系柳瀬川流域における水稻用除草剤の流出調査

佐藤 敦彦, 清遠 亜沙子, 市原 勝

Herbicides released from paddy fields of Yananosegawa river basin

Atsuhiko SATO, Asako KIYOTO and Masaru ICHIHARA

要 約

仁淀川水系柳瀬川流域において、水稻栽培で使用された除草剤3成分(ダイムロン, プレチラクロール, メフェナセット)の流出状況を調査した.

1. 除草剤3成分の河川水中濃度は,それぞれの使用最盛期または,その直後にピークが認められた. しかし, 調査期間中の環境基準点(黒岩橋)における河川水中濃度は, 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準値を下回っていた.
2. 除草剤3成分の水田から河川への流出量は, 使用最盛期間あるいは直後の降雨により増加する傾向が認められた.
3. 除草剤3成分の水田から河川への流出率は, ダイムロン>メフェナセット>プレチラクロールの順で高く, 土壌吸着性が高い成分ほど低くなる傾向が認められた.

キーワード: 水田, 除草剤, 流出, 土壌吸着